



米艦船に突入する直前の特攻機



特攻に備えて配置につく米兵たち

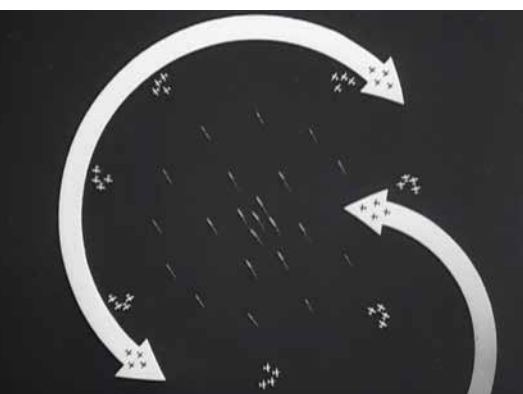


特攻を受けた船体上甲板

米軍が分析した日本の航空特攻作戦の 映像3本を全編公開します。

昭和20(1945)年3月26日から始まった沖縄での陸軍特攻作戦は、当時沖縄戦に参加した米艦船によって記録されました。現在、その記録を基に作成したと思われる対特攻作戦の映像が米国国立公文書館に保存されています。知覧特攻平和会館はその映像を入手し、すべての音声を文字に起こして翻訳し、今年3月に発行した『知覧特攻平和会館 紀要』で公開しました。本企画展では、さらに映像の分析を行い、「米軍視点から見た特攻」を伝えるものとして紹介します。

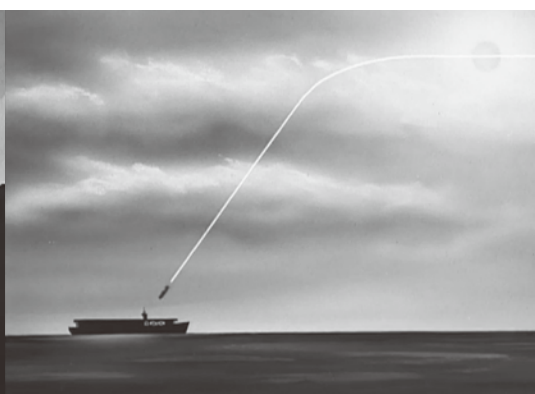
この映像資料を通して、特攻の史実を日米双方の視点から考えていただきますと幸いです。



図示された特攻隊の進入経路



米海軍の戦闘報告映画「特攻攻撃との戦い」



図示された特攻機の突入経路

※掲載写真全て米国国立公文書館所蔵

講座の ご案内

企画展関連イベント「学芸員によるギャラリートーク」

当館学芸員が本企画展の内容について詳しく解説します。

開催日 11月12日(土)、12月10日(土)、2023年1月7日(土)

時間 10:30~11:00 / 14:00~14:30 **場所** 企画展示室

参加費無料(入館料のみでご参加できます)

事前申し込み不要

定員30名